

※ 個人用財務諸表を作成する際の参考資料

流	現金預金	現金, 小切手, 送金小切手, 送金為替手形郵便為替証明, 当座預金, 普通預金, 郵便貯金等	流	支払手形	営業取引に基づいて発生した手形債務
	受取手形	営業取引に基づいて発生した手形債券(割引いたものがある場合は割高を控除)		工事(業務)未払金	工事(業務)費用に参入すべき費用の未払額
	完成工事(未収入)金	完成工事(業務)高に計上した請負代金の未収額		短期借入金	履行期が決算期後1年以内に到来する借入金又は到来すると認められる借入金(金融手形を含む)
動	有価証券	取引所の相場のある株式及び社債(国債, 地方債その他の債権を含む)で決算期後1年以内に処分する目的で保有するもの。	動	未払金	物件購入代金等の未払金で履行期限が決算期後1年以内に到来すると認められるもの
	未成工事(支)金	引き渡しを完了していない工事(業務)に要した費用(長期の未成工事(業務)に要した費用で完成工事(業務)原価に含めたものを除く)		未払費用	未払給料手当, 未払利息等継続的な役務の給付を内容としている契約に基づいて決算期までに提供された役務に対する未払額
資	材料貯蔵品	手持の工事(業務)用材料及び消耗工具器具等並びに事務用消耗品等のうち未成工事(業務)支出金又は経費として処理されなかったもので, 12月31日現在の棚卸高	債	未成工事(受)金	引渡しを完了していない工事(業務)についての請負代金の受入高(長期の未成工事(業務)について, その出来高相当額を完成工事(業務)高に含めたものは除く)
	△貸倒引当金	受取手形, 完成工事未収金等流動資産の部に属する債権に対する貸し倒れ見込額を一括して記入		預り金	営業取引に基づいて発生した預り金及び従業員からの預り金
	建物・構造物	営業用として使用している建物, 構造物の期末帳簿類(住居と併用している場合は, 営業用として使用している坪数の全坪数に対する割合で按分した額を記入, 借用している建物は含まない。)		固定負債	長期借入金
固	機械搬具	営業用として使用している建設機械その他の各種機械又は装置及び船舶並びに自動車等の期末帳簿類	純	純資本金(元入金)	前年末の次年繰越純資本金元入金ともいう
	工具器具備品	各種の工具, 器具, 備品で耐用年数が1年以上であり, 取得価格が相当額以上であるものの期末帳簿等額		事業借主定	事業主が営業外資金から事業のために借りたもの(事業主個人の金を出資したもの, すなわち元入金に属するもの)
	土地	営業用として使用している土地で, 借地は含まない。		事業貸主定	事業主が営業の資金から家事費に充当した金額
	繰延資産	繰延資産		当期利益(△当期損失)	当年利益金(当年損失金)
合計	合計	左右の合計は必ず一致すること	合計	左右の合計は必ず一致すること	
			次年繰越純資本金	次年の純資本金(元入金)となる	

[点検事項]

(1) 当期利益(当期損益)

- ① $(D) = (A) - [(B) + (C)]$ …… マイナスとなる場合は, 当期損失(D)'に記入する。
 ② $(D) = (オ), (D)' = (オ)'$ …… 損益計算書の額と貸借対照表の額は同額。

(2) 次年度繰越純資本金

$(キ) = (イ) + (ウ) + (オ) - (エ)$ 又は, $(キ) = (イ) + (ウ) - (オ)' - (エ)$

(3) 貸借対照表又は損失計算書の合計は, 同期間において左右同額であること。

$(ア) = (カ), (E) = (A)$